# てんぎょう新聞

'12.1.No175
発行責任 宿岡日出夫
0887-88 5292

## 寒中お見舞申しあげます

皆々様におかれましては、健やかに二〇一二年をお迎えのこととおもいます。

例年、年末始は荒れた天候で、仕事をしている人々にとっては苦労されます。年賀状の配達をする郵便屋さん泣かせの元旦が多いが、今年は、雨も少ないし、三ヶ日は、風もなく静かな正月となりました。

正月に帰省した祖谷出身の人にとっても、道について心配することなく、久し振りの祖谷の風を満喫したことでしょう。

人口が増えるこの時期でも、大日座の鐘の音は、時々"ゴォ〜ン"と聞こえるだけで、静かな静かな三ヶ日。

半強制的な地デジ攻撃に反発して、七月以降テレビのない生活をしていると年末始のテレビ漬けを味わう事なく読書ざんまいでしたが、サッカーラグビーが好きでも見れないのが少々くやしいおもいがしました。

リアルタイムで体感出来ないので、新聞で結果を見ても感激が少ないようには感じましたが、その分、本の中の出合いには、十分満足するものがあります。

「千文字」に出合ったのも、この時でした。自己流の絵手紙を書き、数人の人に時々送っていた関係で、本屋さんで出合い、読めないけど、意味が説明してあり、多くの四文字が気に入りました。

四国の人たちは、千文字を書くことで文字を覚えるそうですが、なかなかのもんですね

似蘭斯
川流不息渕者如松
容止若思、言談取映え盛
外受傅訓、入奉切磨琢磨
交友投分、心動神疲規
性静情逸、物意移
守真志満
堅持雅操
好爵自縻
図写禽獣
感悲仙聖
宣威沙漠
馳譽丹青
河本於農
務茲稼穡
俶載南畝
我芸黍稷
税熟貢新
孟軻敦素
史魚秉直
庶幾中庸
劣智難暗

まに、この所時代小説を多く読みました。時代小説といえば江戸時代、○×捕物とか忍者、武士の世界が多いとおもいますが、お茶屋とか××河岸など料理とか山野草がよく書いてある時代小説にも出合って、今、大変面白くて、あざっています。

いつの世も、歴史が書き残されてるのは、権力者が中心で、都合の悪い事は書かれていないとか言われますが、人が生きているのあらゆる場所。そして、日常の生活が当然あったのです。

そんな日常をかいま見ることが出来る時代小説。

歴史の中に登場しなくても、幸せな生き方があるのだと感ぜずにはいられません。

この所の、政治を見ていると、自らの権力闘争にあけくれて、国民、時に弱い立場にいる人に対して手が届く様な事が出来ない集団になってきます。

時代小説の中の権力者となにと違ってはいないようにおもわれます。

民主主義の名のもとに、自分達の腹だけを満たしているのではないだろうか。

電力業会や原発に関係する団体、企業からお金をもらっていない政治家が果して何人いるのでしょう。

安全委員のメンバーまで、お金をもらってる。果して何を信じればいいのだろう。

なんて、テレビを見なくなれば、考える時間が多くなって、又悩まなければいけなくなってくる。

時に、夜の時間、そして、冬場のこの時期には思索の時間がたっぷりとある。

その事が明日への エネルギーになればいいのですが、ととおれば 頭のエネルギーになりかねません。

頭の財産が多すぎて、なかなか立ちあがれないのですが、一歩でも、いや半歩でも立って歩きはじめなければ、明るい日は遠くなるばかり。

権力を持っている人ほど、頭が働くようでは、世の中まっ暗です。

とって自ら考え、行動をとっていかなければ……。

他人まかせの人生なんて面白くないでしょう。

年末始の暇にまかせて、こんな事を考えたりして新年を迎えました。

これを書き大震災、原発事故により考える事が多くなったとも言えるかも知れません。

今年もてんぎょう新聞をよろしく。